

松前消防署からの

お知らせ！

問 松前消防署 指導係

電話42-2119



ペットが原因？

火災の原因で思い浮かべるのは、たばこやストーブ、コンロなど火を使うものが多いのではないのでしょうか？

しかし、次の身近で意外なもの火災の原因となることがあります。

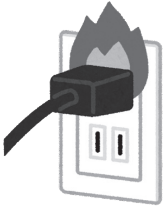


電気コードにご注意を

電気コードが原因の火災も多くあります。次のことに気をつけましょう。

ホコリを溜めない

コンセントと差込みプラグの間にホコリが溜まり、湿気を含むと火花放電し、出火する可能性があります。

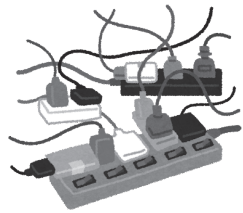


下敷きにしない

家具などがコード上にあると、中の電線が断線し、出火する可能性があります。

タコ足配線は止める

タコ足配線により、コードの容量を超えた多くの電気製品を使うと、発熱して出火する可能性があります。



束ねない

コードを束ねて使用すると熱が溜まり、被覆が溶けて出火する可能性があります。



ペットが原因？

近年、コロナ禍の影響で自宅にいる機会が多くなつたためか、ペットを飼っている家庭が増加しています。そのかわいいペットが、火災を引き起こしてしまう例もあります。

見えない場所に用心

ハムスターなど物を噛む習性のある動物を室内に放すと、電源コードを噛んでしまったことでショートし、火災になることがあります。見えないところに入り込むこともあるため、放す場合はバリケードを作るなどの対策をしましょう。

悪気はないんだけど、ぼくたちに気をつけてね！



おしっこで火災

ペットのおしっこがテーブルタップにかかり、コンセント内でショートして出火することがあります。定期的に電気機器の点検をしたり、カバーをかけるなどの予防をしましょう。



ストーブやろうそく

ペットが服やタオルなどをストーブの近くへ引きずることで着火したり、ストーブやろうそくを倒してしまつて火災になる場合や、ろうそくの火がペットの被毛に着火し、暴れることで延焼してしまうことがあります。

ろうそくを使っていると、きはペットを近づけないようにし、ストーブに柵をしたり、転倒防止の措置をするとともに、燃えやすいものをペットが届くところに置かないようにしましょう。

火の用心を！

自分や家族、家族の一員でもあるペットを火災から守るためにも、日頃から火の用心を心がけましょう。

